

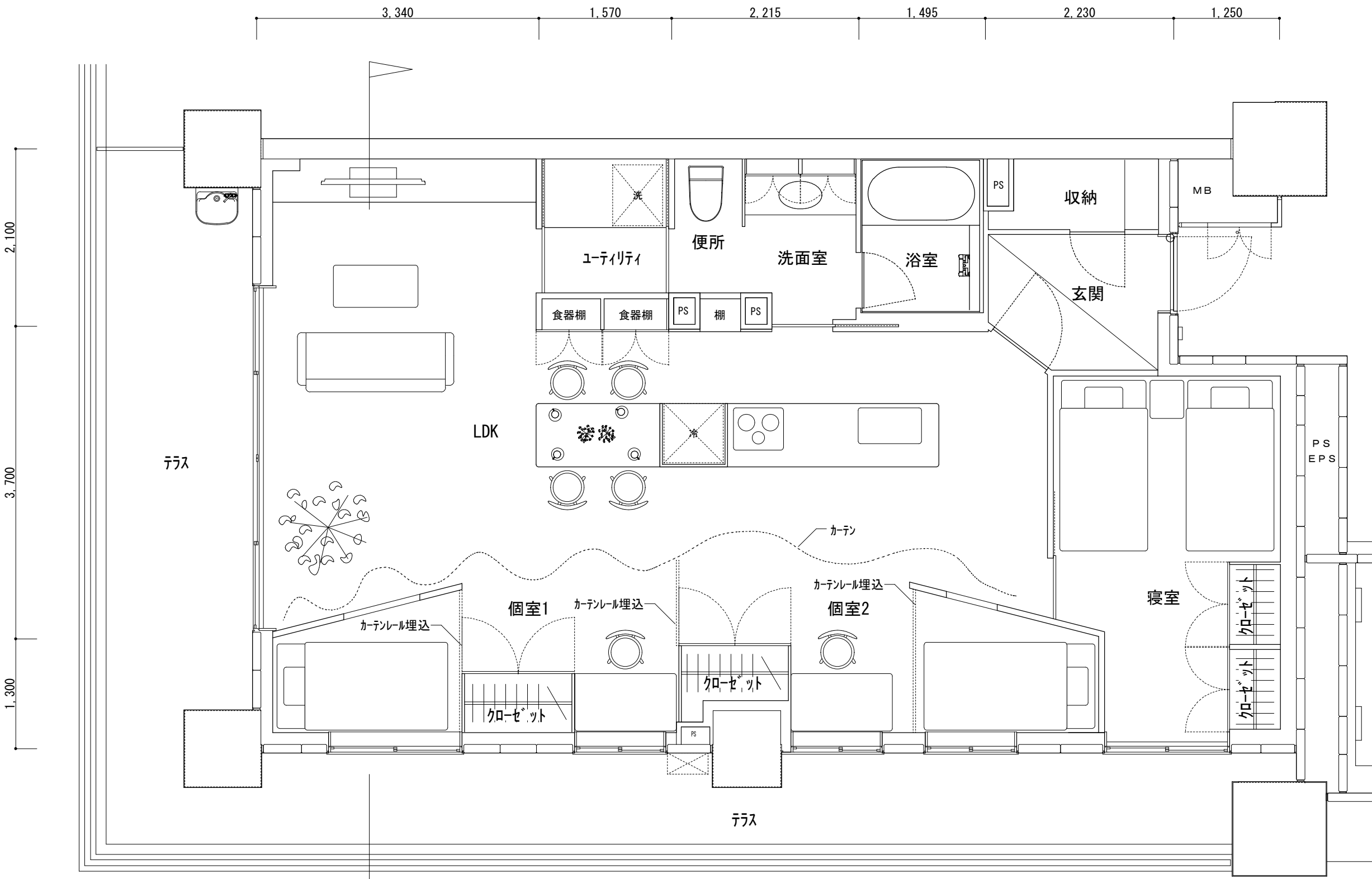


30代の共働き夫婦（子供2人小学生と幼児）のための空間の提案です。

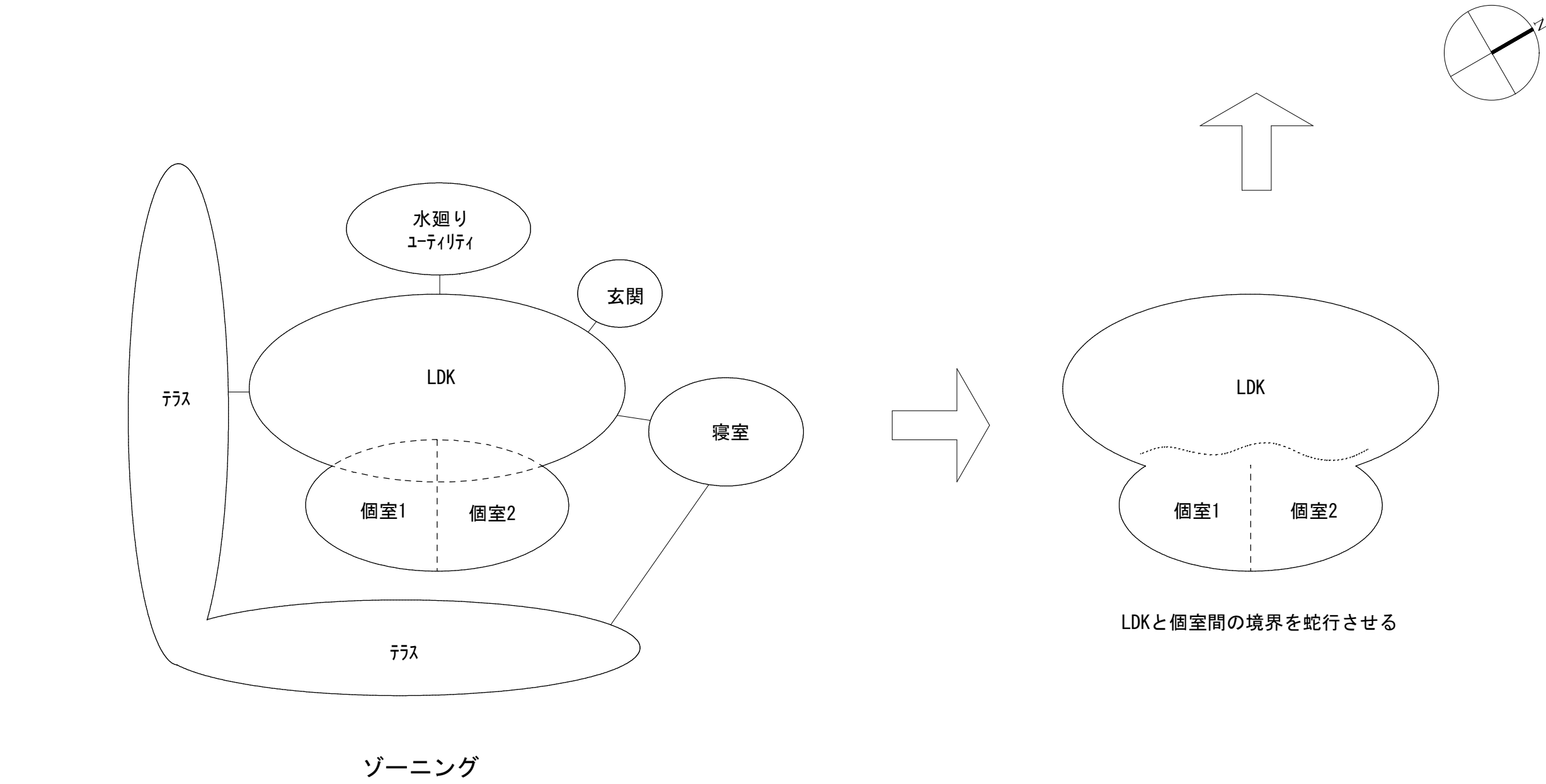
この提案は「LDK」と子供が将来使う「個室」の関係に特色があります。
また家事を効率よくできること、家にいるときはいつも子供の気配を感じられる計画となっています。

- ・キッチンを中心に配置し、水回り・ユーティリティとの関係をコンパクトにして家事の効率化を計りました。
 - ・子供が小さいうちは個室をLDKの一部として、子供が大きくなりプライバシーが必要になったときは仕切られるように部屋どうしを重ね合わせることにしました。
- ここではゾーニングのときに描く柔らかな線をそのまま空間に反映し、さらに蛇行させることによって境界が漂っている状態を表しました。境界面を透過性のあるカーテンにすることによりその効果が助長されます。
- ベッドが置かれる場所は、LDKに開かれた壁とカーテンとの二重の境界によりプライバシーをすこしだけ強めています。
- 大きなLDKであり、おおきな個室であるような空間です。

ここは共働き夫婦にとって限られた時間のなかで子供と密に過ごすための場所であり、つぶやきや会話が自然に生まれる空間です。

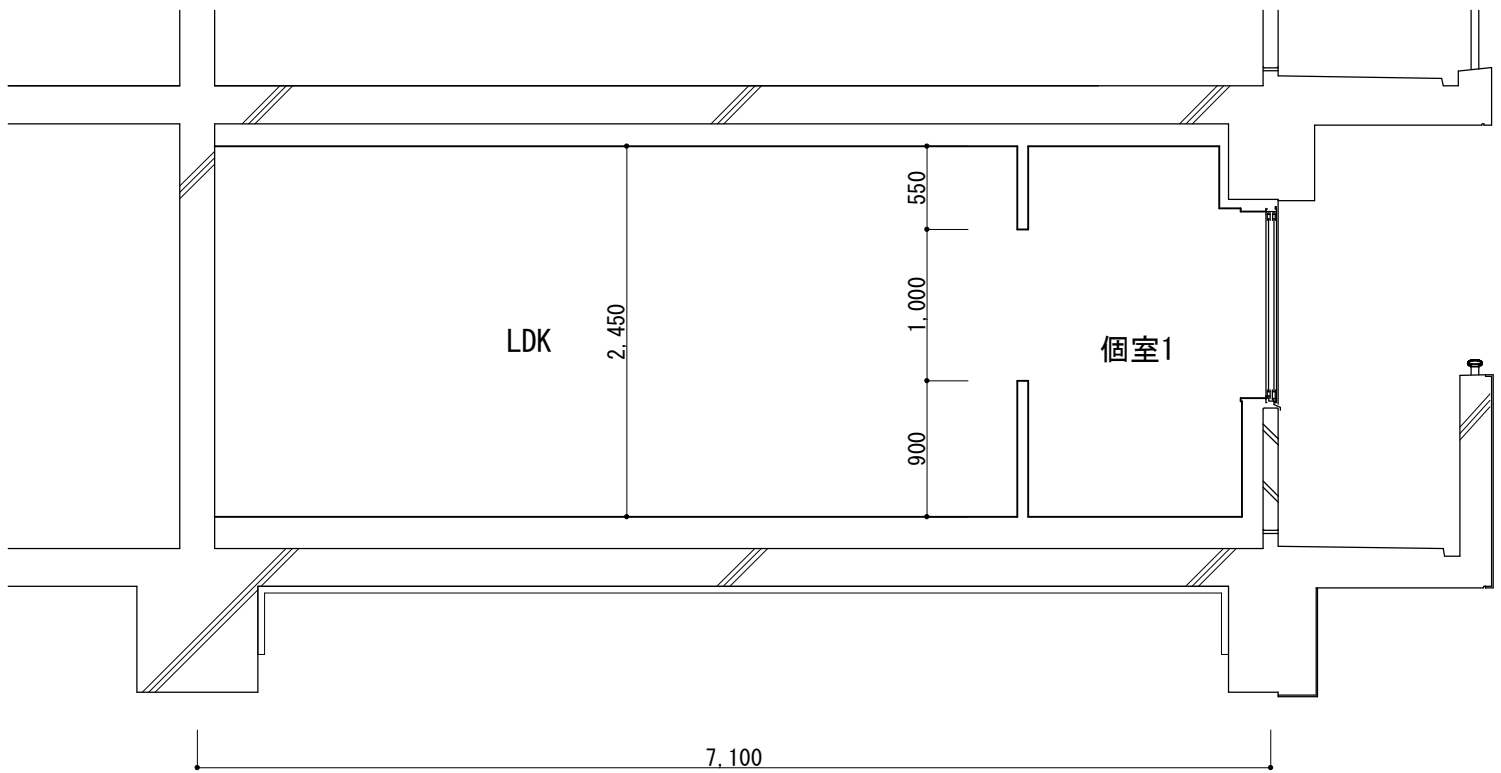


平面図 S=1:50



ゾーニング

LDKを中心に各所にアクセスできる計画
個室とLDKが重なり合うことでお互いのスペースに広がりを与えると共に一体的な使用が可能になる



断面図 S=1:50